

令和4年度 入学試験問題 小論文（国際地域学科）出題意図と解答例

〈出題意図〉

問題文は学校の環境について、子どもたちの心を考えたデザインという点から、子ども目線を大切にすることを提案している。平易な文章で豊富な具体例を示しながら論が展開されており、内容、分量ともに適切な水準となっている。

問題文の中では、学校の環境自体を当たり前のものと捉えるのではなく、子どもたちの心を考えたデザインの点から見直すことは、多様な子どもたちが教師への安心と信頼を得るために重要であることを指摘している。

問題文で展開される議論は、初等教育に関する専門的知識と現代社会における子どもの教育問題について考える態度を身につけさせようとする函館校の国際地域学科地域教育専攻の趣旨と合致する。本問題が受験生にとって、個々の子どもへの指導のみでなく、学校の環境から子どもが受け取るメッセージを多角的に考えるきっかけとなることが期待される。

【設問1】

「子どもたちの心を考えたデザイン」とは何か。また、そのデザインが反映されたのはどのようなところか。本文の表現を用いて151字以上200字以内で説明しなさい。(150点)

〈解答例〉

「子どもたちの心を考えたデザイン」とは、自分らしさを探究できる、失敗も受け入れてもらえるといった教育空間にすることである。そのような教育空間は、子どもたちがリラックスし楽しめるような空間であり、また子どもたちにとって怖くて、悲しくて、不安な場所をなくすような工夫をしたところであり、さらには、メッセージが有効に、子どもたちの心に届くようにしたところである。

(179字)

【設問2】

ある小学校で、児童会から「学校がもっと楽しくなるように、空き教室（児童数が減って学級数が減ったために、現在は誰も使用していない教室）の一つに卓球台、トランポリン、ソファを置いてほしい。昼休みと放課後に全校児童が自由に使えるようにしてほしい。」という要望があった。児童会がこの案について全校児童にアンケートをした結果では、低学年（1～3年生）は賛成3割、反対7割、高学年（4～6年生）は賛成9割、反対1割であった。

この要望について、「子どもたちの心を考えたデザイン」の観点やアンケート結果を踏まえながら、良い点と問題点を述べなさい。そして、あなたがこの学校の教員であったならば、この学校のデザインをどうするか、考えを述べなさい。なお、文字数は全体で601字以上700字以内とする。（250点）

〈解答例〉

この学校のデザインを「子どもたちの心を考えたデザイン」の点から考える。良い点は、子どもがわくわくしたりリラックスしたりできる環境が増える点で、子どもたちの心を考えたデザインになっている点である。そして休み時間に児童の居場所が分散することで、相対的に人数が減った教室で落ち着いて休めるという児童が増えるかもしれない。つまり、その教室を使っていない児童にも良い効果があると期待される。高学年で賛成者が多かったという結果は、高学年はより多様な居場所を求めていることを反映しているのかもしれない。一方で、低学年では反対が多かった。その理由は、低学年にとってこの要望の内容は自分たちの心を考えたデザインとは思えなかったためだと考える。例えば、場所が限られるためすべての児童が利用できるわけではないので、結局は高学年のみが使ってしまうなど、特定の児童のたまり場になり、低学年がその教室に行くのが怖いと感じるかもしれない。わくわく感やリラックスできる環境として恩恵を受けることができる児童が一部に限られる可能性があり、さらに低学年の多くの児童に怖さを感じさせてしまうかもしれない。

さて、私が教師であったならば、これらの良い点と問題点から、学校内に多様な場所を用意するだけでなく、児童がその日の気分や体調、やりたいことを基に、高学年に遠慮せず自由に選択できることを保障したいと考える。子どもたちの心を考えたデザインとは子どもが居場所感を持てることであり、特定の部屋や場所のみをさすのではなく、学校全体に居場所感を持てることをめざし

たい。

(678 字)